

第101回 番組審議会 議事録

◆開催日時 2019年8月20日(火) 12:00～13:30

◆開催場所 (株)キャッチネットワーク 特別応接室

◆出席者

<委員>

碧南市:竹内 芳香委員、鈴木 重幸委員 刈谷市:柘植 文子委員、清水 幹陽委員

安城市:近藤 富子委員 高浜市:神谷 巧委員長、山本 衣江委員

<エフエムキャッチ>

代表取締役社長 松永 光司、取締役 山田 達也、取締役 小森 浩司

局長 松本 勉稔、リーダー 勅使河原 正直

◆欠席者

<委員>

安城市:加藤 康彦委員、知立市:村井 慶子委員、岩瀬 貴子委員

◆議事内容

議題1 番組審議

「Pitch Beat Street 838」についての意見交換

<局より委員へ>

番組コンセプトは、気持ちも疲れがちになる夕方に、テンポのよいミュージックで気分をリフレッシュさせるミュージックプログラムです。地域の情報・エンタメ情報・お天気情報などを、個性豊かなパーソナリティ5名が日替わりでお届けします。聴取ターゲットは帰宅途中の社会人・学生など。

番組の特徴としては、パーソナリティ自身が番組内の音楽をすべて選曲し、音楽を中心とした番組。また、パーソナリティの個性を活かしたコーナーを展開します。

<委員からの意見>

- ・ パーソナリティはポルトガル語も話せるということで、外国の人にとっても楽しい番組になっていると感じました。
- ・ オアシススタジオ前の状況や、天候がリアルで良かった。
- ・ NHKより地域の情報が多いのでとても良い。
- ・ 個人的には、外国語が多くパーソナリティの声が高くて聴き難かったが、全体的には良かった。
- ・ 外国人向けの独立した番組にしてはどうでしょうか。
- ・ 「ラテンで GO」のコーナーでは、インターネットなどの情報だけで進めるのはどうかと思う。実際に行って経験したことを伝えてくれるのもっと良いと思いました。
- ・ 言葉使いに間違いが多いなと思った。まだキャリアが短いのである程度は仕方がないと感じた。
- ・ ブラジルは知らない世界。そんな話をしてくれるのは新鮮でした。
- ・ 少し早口でわかりにくい部分があった。
- ・ 日本語・英語・ポルトガル語の3か国語は、いろいろな人が楽しめると思いました。

<局から>

本日の審議で番組の理解はいただけたと思います。今後、更に番組品質向上に努めてまいります。

議題2 その他について

災害放送はどのようにしているのか。

→ 気象警報や地震速報の第1報は、システムにより自動化されているので、発表とほぼ同時にラジオは放送します。またテレビではL字放送を発表とほぼ同時に出しています。この他にもデータ放送、災害サイト、スマホ用アプリに情報を展開しています。

キャッチでは災害班を3班体制で運用し、すぐに動けるような準備をしています。まだまだ台風が発生する時期が続きますが、地域の情報を発信し、防災・減災に努めていきます。

事務局から

次回日程 2019年10月15日(火)12:00～13:30

意見交換番組:「三河みちくさ散歩道」

以上の議事を進行し、委員長よりエフエムキャッチに対し、「今後も本日の意見を参考にして、より良い番組作りを進めてください。」とのことばをいただき閉会しました。

以上